

◇『ブランド価値が下がるのはアッと言う間』

理事 木田洋一

今、大学で「企業の社会的責任」という難しいテーマを与えられて、授業をやっています。ただでさえ難しいテーマなのに、理屈を色々言っても伝わらないので、企業の不祥事からその企業の社会での責任を考えるという方法でアプローチしています。

できるだけ今、ニュースになっている企業の不祥事を取り上げており、まずは「みずほ銀行のシステムトラブルの調査報告書」が出たので取り上げました。何度もシステムトラブルを繰り返し起こしているのに、またもややってしまったという点と、ATMにキャッシングカードが呑み込まれてお客様がATMの前で待ち続けているのに、社会への影響は軽微というリスク判断で社内連絡を行っており、頭取はネットニュースで知ったという話をすると、学生は一体どんな会社なのかと思ってしまったようです。

また、三菱電機の過労死問題を取り上げている最中に、車両用空調機や空気ブレーキのデータ偽装が問題になり、ついに社長が辞任に追い込まれました。三菱電機はこの数年、過重労働問題や不正アクセス問題など不祥事が相次いで起こっているので遅きに失したとも言える対応ですが、両社ともこうした相次ぐ失態でブランド価値の低下が著しいのは確かです。

特に、三菱電機は家電とかではなくエレベーター・ビル空調などのテレビCMを大量に出していますが、これは商品よりも人材の採用に向けて知名度アップ、ブランド価値アップのためのものだと思います。

つまり、巨額の広告費を投入してブランド価値を上げても、こうした不祥事ひとつで一気にブランド価値が下がり、巨額の費用を無駄にしてしまうのです。

一方で、この原稿を書いていると、ちょうどトヨタ自動車はオリンピックのテレビCMを止めるというニュースが流れました。今この時点で止めたところでIOCに払ったスポンサー料は減らないし、テレビCMもすでに枠を押さえているので出費はさけられません。

しかし、お金ではなくブランドを守るという判断をした訳です。お金をかけても長年かけて積み上げてきたブランドは簡単には作れません、それを守るということです。

もうひとつ、止めるという企業姿勢を見せたことが一番の広報、ブランド戦略なのです。

◇『リモート映えプロデューサー出現』

代表理事 竹原信夫

◎リモートワーク導入急ピッチ

コロナ禍になって、あっという間にビジネスの形態も変わってしまいました。テレワーク、リモートワークなどは一部の大手企業、IT系ベンチャー企業と思っていたが、今や中小企業でも導入が急ピッチで進んでいます。

感染拡大を防ぐ狙いもありますが、今では「ムダな出張をしなくて済むようになった。意外にコミュニケーションが取れる」と受け入れられています。ポストコロナでもリモートワーク、テレワークが定着しそうです。

◎リモート関連ビジネスが増加

ビジネス環境が変わってくると、新しいビジネスも生まれてきます。先日、取材しましたのは新

しい職業、リモート映えプロデューサーでした。

リモートがこれだけ定着すると、リモートに関連したビジネスが出てくるのは当然でもあります。でも、リモート映えプロデューサーに興味津々です。

一斉日本 事務

◎リアル以上の好印象を

若い女性社長さんです。以前は、CM、広告、映画制作に関わって来られました。仕事柄、画面を通じた見せ方をずっと勉強し、そこで学んだノウハウを今後中小企業のリモートワークに活かしたいと始められました。

リモートは、照明、画角、画質に加え、声や動作などを工夫すれば、リアル以上の好印象が得られるおっしゃいます。中小企業こそ、人と人とのつながりを、このリモート、オンラインで深めるべきと主張されます。

◎ハイブリッド会話が最高に

「普段はリモートでお客様とのコミュニケーションを取っておきます。そして、時々リアルのコミュニケーションを挟みます。このハイブリッド会話がこれから最高のコミュニケーションになるのでは」と、おっしゃいます。生よりリモート方が良い印象をつくれると。

確かにそうかも知れません。現在、金融機関などにリモートを取り入れたコミュニケーション講座を提案、この夏から一部スタートされる予定です。

また、自治体ともコラボし、カメラマン、SNSのネットワークを活かし、地方創生や中小企業を元気にするプロジェクトを考えておられます。リモートワークは、中小企業にとって大きな力になりそうです。

◎中小企業の大きな戦力に

中小企業では販路開拓がなかなか出来ずに、どう売るかが大きな課題でした。販売促進の一環として、リモートワークだけでなく、ECサイトのデザイン、見せ方などもアドバイスしたいと。

リモート映えプロデューサーは、中小企業にとって大きな戦力になりそうです。ポストコロナ時代のリモートビジネスはまだ始まったばかり。今後に期待したいと思います。

大野原洋 事務専門

出張モードで会議イーチ

会議用具

モニタ、ペーパーマテ、スケジュール帳などの会議用具を手配する際は、アドバイスを提供します。また、会議室の設備や会議時間なども考慮して、最適な会議用具を提案します。会議用具の選択肢としては、モニタ、ペーパーマテ、スケジュール帳などがあります。会議用具の選択肢としては、モニタ、ペーパーマテ、スケジュール帳などがあります。

会議用具の選択肢としては、モニタ、ペーパーマテ、スケジュール帳などがあります。